

ここに注目 令和2年度決算審査

第3回定例会では、予算・決算常任委員会において昨年度の歳入・歳出や実施された事業の成果などの詳細を明らかにし、今後の取り組みに生かせるよう審査をしました。

「コロナ禍での学校への影響」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校の臨時休業など1年を通じて影響が出た年でした。学校生活における状況や対応について質疑をしました。

タブレット端末学習支援事業

導入後の先生・児童生徒の活用状況は。

☎ 使ってみることが大事なので積極的に活用するように指導した。

授業の中では、体育の跳び箱運動で自分の動きを撮影して課題を見つけるなど活用した。また、指導する側の研修として



使用の勉強会などを行った。

☎ 今後の課題は。

☎ オンライン授業やライブ配信等、応用的な取り組みを繋げていく必要がある。

コミュニティ・スクール推進事業

活動の状況は。

☎ 活動が思うように進まない状況もあった。

そのような中でも前向きにできた取り組み事例として、修学旅行に行けなかった子どもたちからの相談をきっかけに、保護者や地域住民と一緒に花壇の整備を行った事例もあった。

振り込め詐欺対策に録音機器が効果を発揮

多発する振り込め詐欺被害を防ぐため、録音機器の購入費補助で未然に防止を図っています。

☎ 令和2年度の振り込め詐欺等対策機器購入費の補助金交付の実績と機器の効果は。

☎ 実績は、124件で59万7300円の補助を行った。設置後は、迷惑電話や詐欺まがいの電話が一切かからなくなるなど好評を得ている。

補助金の周知活動

☎ 本庁舎1階のロビー

を利用して機器の展示会を開催して、実際に手に触れて機器の説明をした。また、市内の犯罪状況や手口の注意喚起を行い、危機管理防災課の窓口での相談につながることもあった。



☎ 東入間警察署管内は特に被害が多いが、その方策は。

☎ 機器購入の補助を行っているが限定的となっている。令和3年度は、民生委員の協力を得ながら独居高齢者を対象に訪問の機会を利用して、電話機に張り付けるポップアップフィルムを配布する事務を進めている。

新型コロナウイルス感染症の感染予防を

新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、一般会計から感染症対策事業に予備費を充用しました。

☎ 感染症対策事業として、一般会計の予備費からそれぞれ約319万円、約184万円と2回にわたり充用されている。経緯と内容は。

☎ 令和2年5月に新型コロナウイルス対策として医薬材料品を購入した。一つ目がフェイスガードを約33

1万円で購入した。乳幼児健診等の感染防止対策、災害用の指定避難所に物品を備蓄するためである。二つ目が



手指消毒用アルコール2千本を公共施設に配置するために約286万円で購入した。合計で約319万円となる。

また、令和3年3月にはワクチン接種を進めるための健康管理システムの改修費用として、約184万円を充用した。

市内経済の活性化と生活支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済及び住民生活の支援として、30%プレミアム付の商品券として販売されました。

プレミアム付商品券

事業の効果は。

☎ 昨年6月の事業決定から実際に販売開始するまでが約2カ月と、かなり準備期間が短かった。そうした中で、販売総数は、2万6104冊となり、当初想定していた2万冊を大幅に超え、効果はあったと認識している。

また、参加店についても294店舗となり、その内大型店舗が16店舗含まれていた。

成年後見センター開設の効果

高齢化が進み成年後見への関心は高まっています。契約行為などの法的な案件に対応することが困難な人の権利や財産を守る仕組みです。

事業の実績は。

☎ 成年後見センター

は、制度の利用啓発や後見人支援という機能を持たせた機関としてオープンした。

令和2年度中には相談件数が269件、専門職への相談が5件あった。

制度に関する相談が多く、社協だよりや市報などの活用のほか、出前講

座なども実施している。

☎ 市民後見人養成のための基礎講座を開催し、20名の参加があった。今後も、法人後見の受任を引き続き実施していく。

☎ 令和2年度は、首長申立ての後見申請はあったか。

☎ 19件の申立てがあり、裁判所で確定している。

目の健康を守るために

目の疾患から健康を守り、早期発見・早期治療へつなげるために、緑内障検診事業が始まりました。

☎ 事業の概要は。

☎ 自覚症状がなく進行する緑内障や、生活習慣や加齢によって起こる様々な目の疾患について早期治療につなげるために、46歳、56歳になる人を対象に、受診券を送付して検査を推奨した。対象者の総数は。

☎ 46歳が1923人、56歳が1538人で、総数は3461人であった。

事業の実績

☎ 受診した人は751人で、その内、精密検査をした結果

緑内障と診断された人が46人いた。約6%が緑内障との結果が

出た。

☎ 緑内障検診について、新型コロナウイルスの影響はあったのか。

☎ 6月1日からの実施予定を7月1日から開始したので、1カ月短縮して実施した。少なからずこの1カ月間については受診者が減っていると考

えている。